

2014 年の取組み

第 1 回東日本復興支援実行委員会 4 月 25 日 講堂で

2014 年度の活動 決定

1. 小金井なかよし市民まつり 10 月 18・19 日
2. 農工大学園祭 11 月サークルごとに検討
3. 作品展で販売できないか → 不可
4. どの作品が売れたか記録し、役立ててほしいとの指摘
5. ベテランママの会（番場塾）の「放射能のはなし」パンフレットに対する寄付はしない

2013 年度委員会取組み実績

- ①小金井なかよし市民まつり 10 月 18・19 日参加
- ②農工大学園祭への参加申し込みができなかったため府中 NPO ボランティア祭りに参加。
- ③バザーでは南相馬支援アピール（南相馬小高商高の開発商品かりんと・かぼちゃタルトを販売）と友の会の案内ちらしを配布。
- ④現地支援者への交通費補助について議論。全額を私費でというのは無理がある。会としてみなで支える意味もあるので補助はしていくが、ルールを作成し、支援金単独の会計報告をきちんと出すことにした。

2014 年度の南相馬支援活動

2 年目を迎えた農家民宿の皆さまの藍染めの取組みはNHK「小さな旅」で放映されたように生活の張りに役だっている。放映後は全国各地から問合せや注文が届く活況になっているようだ。

また、今年度後半には、未帰還地区の小高で産業興しの養蚕と織物に挑戦をはじめた「浮船の里」から依頼を受け、絹サークル OG が援助をはじめた。農工大の歴史を考えると支援に意味を見出すが、課題も多く、今後の動向を見守りたい。

2014 年はコラボ活動も活発に行われた。若い世代の相馬農業高校の農業クラブ、小高商業高校の生徒さん、また農工大学生ともわら確保のために、稲刈り・脱穀作業に協力依頼。府中でバザー実行も学生の力によった。

<南相馬での活動> 手仕事をとおした交流が続いた。

第 1 回 5 月 24 日～25 日

「クラフトテープのかごづくり講習会」、藍乾燥葉染（相農高と借上げ住宅の方）

第 2 回 6 月 20 日～21 日

「繭クラフトワークショップ」

第 3 回 8 月 2 日～3 日

「藍の生葉染講習会」民宿と相農高

第 4 回 10 月 24 日～26 日

農家民宿で地域の皆さまと「縫い絞り学習会」
相農祭のための「藍の乾燥葉から染色液をつくる」指導
および藍染体験を提供する農業クラブ援助
小高区浮船の里「繭から真綿をつくる」指導

第 5 回 11 月 29 日～30 日

原町区ひばり生涯学習センター「わらの馬作り講習会」

第 6 回 12 月 13 日～14 日

南相馬市博物館で体験学習会「わらの馬作り講習会」
農家民宿で地域の皆さまと「しめ縄づくり」

第 7 回 3 月 13 日～14 日

「ふるさと復興会議」での交流事業に参加
相農高生、小高商高生、市民の方と藍染体験および民宿の方へ縫い絞り学習会

これだけ活動が多くなると、交通費の負担が大きく、顧問格の三村研究員のアドバイスを受けて、助成金申請を行った。バザー収益の繰越金も減る一方なので今後助成金の導入も検討していきたい。

※申請にかかる事務処理も増えるがやむを得ない。

2015 年 4 月 17 日